

上越ケーブルビジョン FM じょうえつ

令和 3 年度

第 1 回放送番組審議会 議事録

- 1 開催年月日 令和 3 年 7 月 15 日 (火) 14 : 00 ~ 15 : 00
- 2 開催場所 上越ケーブルビジョン本社
- 3 委員出席
委員数 6 名
出席委員数 5 名
出席委員の氏名 岡本 富治会長、今井 孝 委員、上野 みさよ 委員、
梶川 信之 委員、高橋 弘美 委員
欠席委員の氏名 永見 完治 副会長
上越ケーブルビジョン株式会社 (FM じょうえつ) 出席者名
メディアセンター担当取締役 福嶋良章、担当部長 沢田真紀
放送制作課/ウェブ事業課 課長 佐藤 康司 放送制作課 八木一茂

4 議題

- (1) 公開生放送「道の駅あらい くびき野縁日」について
- (2) 今後の放送計画について
- (3) その他

5 議事の概要

- (1) 公開生放送「道の駅あらい くびき野縁日」について

6 月 5 日 12:00~14:00

事務局) 妙高市にある道の駅あらい「くびき野情報館」前での開生放送。

この番組は 2007 年から過去 12 回、毎年 6 月第 1 週の週末に行われる「くびき野縁日」の開催に合わせて放送してきた。道の駅あらいが道路交通を支える役割とともに、防災拠点でもあることを伝える事が目的。道の駅の施設や出店店舗などのエリア内の紹介と、妙高市・国土交通省・FM じょうえつの三者協定による災害時を想定した臨時放送訓練を番組内で行い、ラジオが果たす役割を広く周知する機会としている。

- ① 審議委員) このような情報はリスナーにとっても放送の価値がある。新エリアが地下道で繋がっていることを、実際の現地レポートで知ることができた。
- ② 審議委員) 道の駅あらいの光景、イベントの様子や妙高市の郷土料理、自然、環境、防災などバランスよく表現されていた。会場レポートがあったことで、様子が伝わりとてもリアル感があった。防災訓練放送の実施については重要な情報であったと思う。緊急ラジオ放送の経緯、仕組みが分かって理解しやすかった。「道の駅あらいは、いざという時の防災拠点という事を地域の皆さんに心にとめておいてほしいと思います」との言葉が妙高市民として共感した。

- ③ 審議委員) 訓練放送では、普段使用している電話回線が防災のルートに回線切り替わっても音質が変わらない点は、非常時にも影響なく聞こえることが実証された。

(2) 今後の放送計画について

事務局) 4月から当社にて放送を開始しているが、聴取習慣等を意識しながら放送を計画する予定。今後については、関係各所と相談の上、適宜対応していく予定。

(3) その他 全体を通しての意見・要望

- ① 審議委員) ラジオリスナーにとって番組改編は生活スタイルへの影響が大きく、慎重にお願いしたい。FM みょうこうでの収録番組を放送する際も、なぜこの時間に流すのかを考えて編成してほしい。また、地域に偏らずエリア全体でのコミュニティの意味を大切にしてもらいたい。ラジオを介して、リスナー同士が繋がっていることを忘れないでほしい。

6 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

審議番号	措置の内容	措置日
(1) -①、②、③	意見に対して回答	令和3年7月15日
(3) -①、	意見に対して回答	令和3年7月15日

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法

- ① 自社放送
- ② 事務所への備え置き
- ③ 自社ホームページ (<http://fm-myoko785.jp>) への掲載

9 その他参考事項